

令和 7 年度指定管理業務実績調書（指定管理者記入用）

公の施設名称： 藤岡市障害者就労センター・
藤岡市生活介護センター

所 管 課： 福祉課

調査対象期間： 令和7年4月1日～令和8年3月31日

1. 指定管理者の概要

名 称	藤岡市障害者就労センター・藤岡市生活介護センター	代 表 者	理事長 小林 敏夫
所 在 地	群馬県藤岡市下栗須873番地1	指 定 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
業 務 内 容	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法、第5条第1項）に規定する生活介護事業及び就労継続支援B型事業に係る業務全般。具体的には、障害をお持ちの通所される方々の日中活動として生活支援・就労活動・相談・援助・生活訓練・機能訓練・健康づくり等、当該利用者のニーズや課題についての支援を適切に行う。		

2. 管理運営の実績

開館日数			利用者数		
	令和6年度	令和7年度		令和6年度	令和7年度
目標・計画	252	252	目標・計画	9,348	9,095
実績値	252	252	実績値	8,234	8,061
達成度	100%	100%	達成度	88%	89%
前年比	100%	100%	前年比	98%	98%

収支状況				
		令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	計画	64,181,000	64,260,000	65,233,000
	指定管理料	0	0	0
	その他	60,845,630	61,582,752	64,800,035
	繰越	0	0	0
	合計	60,845,630	61,582,752	64,800,035
	前年比	103%	101%	105%
支出	計画	63,060,000	61,370,000	60,770,000
	人件費	35,505,236	34,924,722	38,331,329
	光熱水費	2,074,359	2,762,902	2,427,321
	修繕費	172,465	437,235	983,321
	広告費	280,456	5,544	0
	その他	12,148,945	13,089,454	15,008,520
	合計	50,181,461	51,219,857	56,750,491
	前年比	94%	102%	111%
収支合計		10,664,169	10,362,895	8,049,544
収支合計前年比		187%	97%	78%

3. 管理運営の内容

申請書での計画内容
藤岡市が指定管理事業として委託する障害福祉サービス事業としての管理運営について藤岡市が制定する基本協定及び指定管理仕様書等に基づき、適切かつ安定した事業運営及び利用者に対する安心・安全かつ良質なサービス提供を実施することにより、地域の中で事業所にて日中活動を過ごす障害者の方々が差別や偏見の無い充実した生活が実現出来る様に全面的にサポートしていく。
実際に実施した内容
令和7年度の事業計画に基づき、管理運営を遂行した。具体的な実施内容としては、①利用者の健康管理と感染症予防②職員資質の向上③感染症及び防災体制の整備④虐待防止・身体拘束規定の遵守⑤利用者のニーズや課題に合わせた支援の提供⑥利用者の経済的自立の実現⑦利用者の健康づくりの推進⑧経費削減への取り組み⑨外出訓練による社会参加及び日常生活訓練など。その他管理運営全般について実施した。
評価・課題・今後の方針など
施設の設置目的を理解し、事業計画及び基本協定書並びに指定管理仕様書・年度協定書に基づき、又、前年度指定管理業務運営状況評価表を参考に計画通りに運営出来ていた。上記に実施した評価内容について具体的には、①利用者の健康管理では、バイタルチェックや体重測定の実施、感染症予防については、パーテーションの設置や手指消毒などの徹底②職員資質向上を目的とする研修・訓練の充実③災害・感染症BCP計画についての教育や訓練による体制整備④虐待防止や身体拘束についての教育・訓練の実施や委員会の設置による法令順守の徹底⑤理学療法や音楽療法の専門的指導の実施と機能訓練や生活訓練の継続的な実施によるニーズの提供と課題解決⑥企業からの作業委託や清掃委託の拡大による工賃向上から就労支援収益増益に伴い、利用者工賃の増額から経済的な自立に向け寄与していく⑦利用者の健康づくり教室や運動の機会を提供し、健康増進を図る⑧光熱水費や消耗品の節約及び購入時の価格比較や精査を行う⑨テーブルマナーや映画鑑賞などの外出訓練の実施による社会参加と外出時におけるマナーや規則など日常生活訓練の機会を提供する。今後の課題としては、医療行為が必要な重度心身障害者受け入れ体制の整備に伴う喀痰吸引研修の取得（現在資格取得し、群馬県へ届出中）と受け入れの実現、又、更なる利用者の安全や防災体制の整備の充実、就労支援収益増額に伴う工賃向上である。今後の方針としては上記を含む多くの具体的な運営計画内容の実践と更なるサービス向上に向けての取り組みである。

4.セルフモニタリング

- *優良 : 協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。
- *妥当 : 協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。
- *課題あり : 協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標をほぼ達成しているが、一部に課題がある。
- *要改善 : 協定等の内容に重大な不履行がある、又は非常に不適切な管理運営が見られる。

(1) 施設による事業やサービス・利用者満足度の向上について

計画内容	施設を利用する方々へのサービス内容や人権・施設環境・職員の配置や資質などについて様々なサービス内容における利用者支援の向上や満足度へ通じる実施内容について計画し、取り組んでいく。
実施内容	①適材適所で充実した支援業務に欠かせない適正かつ配置基準を満たした職員配置②おたよりや季刊誌の発行による施設情報の公開③職員の研修・教育を通じての接客マナーの徹底④防犯・防災マニュアルの遵守と体制整備・車椅子及びベルトの設置による安全確保やAEDを含めた安全教育⑤苦情箱の設置（実績該当無し）と保護者会等での聴取⑥意見箱設置や連絡ノート等の活用⑦個別支援計画や個別面談の実施時におけるニーズや課題把握⑧利用者増員や確保のための魅力の発信と地域への働き掛ける。
評価項目	・適正な人員配置 ・案内等の対応と接遇 ・利用者の安全確保 ・苦情等への対応 ・アンケート実施や意見箱設置等 ・利用者のニーズを把握 ・利用者数 等
評価	妥当：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。
評価理由・課題等	計画内容と相違なく実施が出来ていた。特に施設利用者や保護者からの苦情や要望などは保護者会や意見交換ノート・苦情及び意見箱と1年を通して令和7年度はゼロ件であり、施設への満足度が良好であることが伺えた。今後は自己満足することなく、利用者の些細な態度や言動・表情や個々の保護者との綿密な交流の中で改善していけるような内容があれば直ちに対応していく。

(2) 施設の管理について

計画内容	施設に通所する方々が施設を快適にかつ安心して過ごせる場所であると共に環境にも配慮し、施設管理を適切にそして大切に使用していくことでよりよい支援業務が提供できる施設環境を整えていく。
実施内容	①建物全般の定期安全確認及び修繕箇所の業者委託による修復②自動ドア・電気管理・警備・防災設備・浄化槽・害虫駆除の専門業者による委託管理を実施③消防設備や空調設備の定期チェックを行い、維持管理していく。④朝夕を含め、清掃時間を定期に設け、施設の美化に努めている。⑤光熱水費(水道・電気など)については水道は節水弁使用や電気は未使用場所の消灯などの省エネや経費削減・SDGsにも繋げていく。
評価項目	・建物保守管理 ・設備機器安全確認 ・管理記録 ・清掃、警備、衛生管理 ・省エネ、環境配慮 等
評価	妥当：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。
評価理由・課題等	平成15年設立から23年が経過した施設であるが、現状までについても施設を大切に使用出来ており、修繕箇所についても徹底調査のもと、備品を含めて適正に修復を行ってきた。今後についても各箇所の老朽化又は故障等によるトラブルにて改善を要する場面が発生すると思われるが、継続して適切に対応したい。又、自動ドア・電気管理・警備・防災設備・浄化槽・害虫駆除などの委託管理業務については、引き続き、専門業者による管理体制を継続していく。

(3) 収支状況について

計画内容	自立支援給付や就労支援収益を中心とした収益の増益と人件費や消耗品・修繕などの支出の経費削減に努めていく
実施内容	①就労収益は企業からの受託対応における改善(多能工化及び受託企業の整理)出来たことでR7年度は総額約587万円で前年度比で約105万円増益(前年度の121.8%)となった。②自立支援給付費については、利用者への工賃も同様に大幅に向上したことにより、R6年度と比較してR7年度は延べ利用者減であったにも関わらず、工賃向上から報酬単価が上がったことと職員配置を手厚くしたことにより、配置加算分もあり、給付費増額となった。③支出額については、人件費や修繕費で支出を要したものの物価高騰の中、消耗品の同等の物でも価格比較や効率のいい使用方法、光熱費の削減について取り組んだ。
評価項目	・事業経費見直しによる収支改善努力 ・利用者増等による収支改善努力 ・指定管理者の経営状況 等
評価	優良：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。
評価理由・課題等	前年度比で利用者減員にも関わらず、自立支援給付の増益や就労収益の過去最高となる大幅な増益は特質すべきで高評価出来るものであった。又、光熱水費・消耗品などの支出の経費削減についても取り組んでいた。収益全体としては前年度比でプラス約322万円、支出は物価や光熱水費高騰にも関わらず、大きな修繕や育休職員の職場復帰などから前年度比プラス553万円で支出増とはなったものの全体的には光熱水費を始め、抑えられた結果であった。引き続き、全体収支として黒字額を伸ばしていくとともに利用者確保の方策として魅力ある施設づくりの実現から地域や特別支援学校へもアピールしていきたい。

(4) 総合評価

評価	妥当：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。
評価理由・課題等	令和7年度の全体的な事業運営については、事業計画及び基本協定書並びに指定管理仕様書・年度協定書に基づき、適切な運営が実現出来ていた。障害福祉サービス事業所として利用される方々のよりよい日中活動を目指していくにあたり、支援サービスの更なる充実が使命である。今後も継続して安定した運営管理と支援体制の確保が望まれるため、最善を尽くして対応したい。就労収益や自立支援給付費も増益となったが、利用者の減員や支出額も増額となっており、今後、国の報酬改定でも厳しい条件が突きつけられても乗り越えられるような運営体制を構築したい。

優良：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。

妥当：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。

課題あり：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標をほぼ達成しているが、一部に課題がある。

要改善：協定等の内容に重大な不履行がある、又は非常に不適切な管理運営が見られる。